

学科名	生物環境化学科						
科目名	生物化学I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	神武 洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の構造と名称が一致する。 ・糖(炭水化物)の構造と名称が一致する。 ・酵素の名称からその酵素の触媒する反応を分類できる。 ・タンパク質、糖、脂質、核酸などの生体分子について、それぞれ化学的な構造、性質、反応性、機能を説明できる。 						
日程と内容	<p>4/11: 導入講義(授業の進め方と概要の説明、成績評価法の説明。生体分子の種類や構造を概説。)</p> <p>4/18: タンパク質、アミノ酸の構造と機能</p> <p>4/25: タンパク質、アミノ酸の代謝と合成</p> <p>5/2: 糖(炭水化物)の構造と機能</p> <p>5/9: 糖(炭水化物)の代謝、解糖系</p> <p>5/16: 脂質の種類と構造と機能</p> <p>5/23: 脂質の代謝、脂肪酸の合成</p> <p>5/30: 核酸の基本構造</p> <p>6/6: DNAの高次構造とRNAの種類</p> <p>6/13: 核酸とタンパク質の合成-複製-</p> <p>6/20: 核酸とタンパク質の合成-遺伝子転写・翻訳-</p> <p>6/27: ビタミンの構造と機能</p> <p>7/4: シグナル伝達の生化学(1)</p> <p>7/11: シグナル伝達の生化学(2)</p> <p>7/18: 酵素の性質・種類・反応</p> <p>7/25: 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題						
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の構造と名称が一致する。:達成した ・糖(炭水化物)の構造と名称が一致する。:達成した ・酵素の名称からその酵素の触媒する反応を分類できる。:達成した ・タンパク質、糖、脂質、核酸などの生体分子について、それぞれ化学的な構造、性質、反応性、機能を説明できる。:達成した 						
反省点	授業内容、難易度、進行スピード等、特に問題はなかったと思われる。しかし、予習、復習に対するスコアが他のスコアと比較して弱冠低かったのが残念である。						
来年度の計画	次回授業内容に関して、教科書や参考図書の該当箇所を説明し、学生の自己学習を促す工夫を行う。引き続き授業始めに演習問題を解かせて、授業中に復習をさせる。						
授業評価アンケートに対するコメント	特になし						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	58名	合格率	88%